

【平成25年度学校教育自己診断結果 分析】

(1) 質問項目総数 生徒 40 保護者 22 のうち

「肯定的評価」が80%以上の項目数：生徒 2 保護者 7

「肯定的評価」が50%以上の項目数：生徒 33 保護者 1

概ね肯定的に評価をして頂きました。

学校として特に重視する項目の

生徒①「学校へ行くのが楽しい」85.5%

保護者①「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」87.8%

となり、一定の評価を得ました。

しかしながら、

生徒⑫「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。」  
43.3%

保護者②「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている。」51.0%

等の結果は学校としての課題と捉え、次年度以降改善を図る所存です。

(2) 質問項目について平成23年度からいくつか変更していますので、前年度との比較できない項目  
があります。

比較可能な質問項目数 生徒 24 保護者 21 のうち

「肯定的評価」が上昇した項目数：生徒 20 保護者 17

「肯定的評価」が10%以上上昇した項目数：生徒 10 保護者 9

となり、昨年度に比して、学校への評価が概ね上昇したと判断いたします。

しかしながら、「肯定的評価」が減少した項目数：生徒 4 保護者 4

であり、またその内容において、

生徒④「授業はわかりやすく楽しい」—3%、

保護者②「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている。」—11%

となっており、学校の根幹である授業に対する評価が低いことを、極めて大きな課題であると受け止めます。次年度以降の改善を期する所存です。